

4 医療相談

窓口では、医療に関する様々な相談を受けている。診療依頼などの件数は、仕事の減少の影響で、現役労働者が生活保護の受給に移行したため大きく減少した。

(1) 切り傷などの軽微な処置

軽微な怪我については、消毒薬の塗布・傷テープの支給を行っている。2009（平成 21）年度は、傷テープの配布 15,561 件、軽微な処置 456 件であった。

(2) 医療機関の紹介

2009（平成 21）年度の（社福）大阪社会医療センターへの診療依頼は 3,233 件であった。歯科など医療センターに診療科目がない場合の他機関案内は 536 件、救急車による搬送は 11 件であった。

(3) その他

インフルエンザの流行時などに、ポケットティッシュや簡易マスクの支給を行い、併せて衛生や就労に関する啓発を行った。2009（平成 21）年度は、ポケットティッシュ・マスクの支給は、23,680 件であった。（表Ⅱ-9）

なお、2009（平成 21）年 5 月、新型インフルエンザの府内感染を受けて、センター利用者に対し、周知ポスター・センターだより・アナウンス等により、感染防止を呼びかけた。

5 労働者援助

(1) 短期宿泊援助

短期宿泊援助は、労働力の維持と就労支援のサポートとして行っている。加えて、派遣切り等により新たに流入してきた労働者の就労支援の対応としても活用している。

① （社福）大阪自彊館（三徳寮）への依頼

就労・賃金未払い・労災手続きのトラブル等の事情で困っている労働者に、1967（昭和 42）年より宿泊と食事の提供を（社福）大阪自彊館（三徳寮）に依頼している。

2009（平成 21）年度は、相談数 2,899 件、措置依頼 1,175 件、宿泊件数 1,172 件であった。

② 簡易宿所への無料宿泊紹介

大阪府簡易宿所生活衛生同業組合の協力により、1999（平成 11）年 8 月から簡易宿所への無料宿泊紹介を行っている。2009（平成 21）年度は 467 件の紹介を行った。

(2) 疾病予防援助

就労支援のため、衣類、洗面セット、使い捨てカイロなどの物品 20,345 件の援助を行った。支給している衣類の中には、寄贈されたものも利用している。2009（平成 21）年度の高着の寄贈は 4 件あった。

また、NHK歳末たすけあい募金より、あいりん地区現地懇談会を通じ、下着・ティッシュ等の寄付を受けている。

なお、冬季に配布したカイロは、桐灰化学株式会社から 2 回にわたって 50 ケース (12,000 個) の寄贈を受けたものを合わせて支給した。

(3) 生活援助

就労や賃金受領・労災手続等に必要な交通費や生活費が不足している労働者に、実費程度の少額の金銭援助を行っている。

2009 (平成 21) 年度の相談数は 587 件で、措置は 154 件であった。 (表Ⅱ-9)

(4) 労働関係相談

① 就労・雇用保険

就労する事業所の住所・電話番号を調べることや、電話を貸す等の相談が 832 件、雇用保険の相談が 190 件であった。

② 建設業退職金共済制度 (建退共)

建退共は、建設関係に就労する現場労働者の退職金制度である。2009 (平成 21) 年度は、建退共制度の案内 852 件、手帳作成相談 137 件、更新・再交付を含む手帳作成手続援助が 60 件あった。

2007 (平成 19) 年 6 月より、あいりん労働公共職業安定所が行っている日雇雇用保険手帳新規交付者への説明時に、職安へ出向き、建退共の説明と手続案内を行っている。加えて、2009 (平成 21) 年 5 月から、技能講習受講者への説明時に、建退共の説明と手帳作成を勧めている。

なお、手続援助は 2000 (平成 12) 年 7 月から行っており、累計で 854 名の手続き援助を行った。 (表Ⅱ-10)

(5) 生活身上・その他の相談

① 戸籍住民票

資格証明や定額給付金申請などによる住民登録の相談が 793 件あり、95 件の請求手続の援助を行った。

住民票の移動や設定については、高齢者特別清掃登録や就労支援の一環として行うことが増えている。2006 (平成 18) 年 12 月の、釜ヶ崎解放会館等に設定していた住民票の大量職権消除以降、居所が定まっていない労働者が住所を届出するのが困難となっている。

また、2008 (平成 20) 年 5 月の戸籍法・住民基本台帳法の改定に伴う本人確認の厳格化のため、手続きが複雑になり、窓口では対応に苦慮している。

困難な例としては、以下のことがある。

- i 本籍や住民票登録地の本人の記憶があいまいである。
- ii 長期不在のため職権消滅されていて、繰り返し自治体へ請求行為を必要とする。
- iii 失踪宣告により除籍されていた場合、家庭裁判所への手続き援助が必要となる。
- iv 免許証等の身分証明書を何も持っていない。
- v 簡易宿所が転入の受け皿とされているが、継続的に泊る宿泊費が無い者には、簡易宿所による「宿泊証明書」の取得が簡単ではない。

なお、生活保護を受給している地域労働者が、窓口で住民登録の相談に来所するのが

目立つようになった。そのため、5月に西成区役所の生活保護の責任者と協議を行い、「西成区で生活保護を受給している労働者については、西成区のケースワーカーが住民登録の手続き援助を行う」ことになった。

② 健保・年金

健康保険証の送付手続きは、遠隔地に出張している労働者が帰阪し、資格確認の手続きを行ったものの、取次ぎに一日かかるため『出張先へ保険証を送って欲しい』という要望にもとづいたものである。雇用保険・健康保険手帳取得者の減少に伴い、送付手続きも減少傾向にあり、2009（平成21）年度は21件であった。

③ 住宅相談

相談件数は75件であった。従来から住宅相談の一つとして「単身者向けUR住宅（旧公団住宅）」への入居案内を行っているが、近隣の家賃の安い住宅が募集停止となり、相談件数は減少している。

④ 郵便物受け渡し

労働者の居住地が不特定の場合があり、郵便物の受取りに困ることがある。その受渡しができるよう、援助を行っている。

2009（平成21）年度に受付けた郵便物は1,612件、本人に渡した郵便物は1,615件であった。

郵便物の受渡しは減少傾向にあったが、定額給付金関連の郵便物が増えたことにより、前年度の倍以上の取扱いとなった。

⑤ その他

センター業務の説明や他施設・機関に関する案内等を行っている。相談は8,635件あった。飲酒者への対応は、1,065件であった。 (表Ⅱ-10)

主な業務の歴年来推移は、図Ⅱ-2のとおりである。

6 労働者福利厚生

(1) たそがれコンサート

労働者の文化、娯楽に資するため、府立淀川工科高校吹奏楽部を招いて9月10日(木)に萩之茶屋南公園（三角公園）において「たそがれコンサート」を開催した。

2009（平成21）年度は、同校吹奏楽部の演奏が20回目となることから、センター理事長と大阪府知事からの感謝状の贈呈を行った。あわせて全港湾西成分会からは、お礼の言葉が贈られた。

2009（平成21）年度は、参加者全員による合唱の企画もあり、例年にも増して心温まる夕べとなった。地域住民や学校関係者等を含め参加者は1,000名を超え、地域的な関心の高まりを感じさせるものとなった。

淀川工科高校吹奏楽部が「たそがれコンサート」を行うようになった経過を同校の丸谷先生から取材し、「人間のよさ・音楽の力がこもった世界一の舞台」の記事を「センターだより」に掲載し、各方面から反響を得た。

なお、たそがれコンサートは1981（昭和56）年より実施し、府立淀川工科高等学校吹奏楽部の演奏は1990（平成2）年から行われている。

(1989（平成元）年は、雨天のため中止)

(2) 将棋愛好者のつどい

10月19日(月)に、15名の参加を得て「将棋愛好者のつどい」を開催した。この「つどい」は1981(昭和56)年から開催しており、1992(平成4)年から日本将棋連盟の森信雄七段の指導を受けている。

当日は、トーナメントによる参加者同士の対局や森七段との多面打ちが行われ、「センターだより」でその熱戦の様子を伝えた。

現役労働者層の一層の参加を促進するため、今後は、広報や企画の工夫に努めていく。

(3) 歴史発見ウォーク

労働者のつながりづくりと地域愛着を深めるために開催していた『歴史発見ウォーク』は、2009(平成21)年度から「釜ヶ崎のまち再生フォーラム」「大阪市立大学・都市研究西成プラザ」「西成市民館」の三者共催の同種行事に移行した。「センターだより」で広報の協力を行った。

(4) シャワー室の無料開放

地域労働者の福祉のため、夏と冬の年2回、シャワー室の無料開放を行っている。

2009(平成21)年度の夏は8月17日(月)~21日(金)の5日間(利用者1,417名)、冬は12月24日(木)・25日(金)・28日(月)と1月4日(月)・5日(火)の5日間(利用者992名)実施した。

なお、無料開放時には、必要な労働者に対してタオル・石けん・カミソリの給付を行っている。

7 広報啓発活動

(1) センターだより

求人情報・労働関係の啓発・健康知識の普及を図るため、広報紙「センターだより」を発行し、労働者・登録事業所及び関係機関等に毎月2,500部配付している。行政関係や地域の諸団体・施設、33ヶ所の簡易宿泊所へ手渡しや送付を行い、情報発信を強めながら協力体制づくりに努めている。

2009(平成21)年度は、35年前のオイルショック時と同水準まで落ち込んだ求人状況を色濃く反映した紙面となった。

- ① 「緊急雇用創出基金事業」に就労した労働者の声や、不況のしわ寄せが地域の労働者の生活にどのような影響を与えているのかを聞き取った。
- ② 日雇雇用保険手帳の作成や高齢者特別清掃事業への登録、安定就労を目指すために技能講習の受講を呼びかけた。
- ③ 多くの相談があった「定額給付金」の申請方法を周知すると共に、生活基盤の安定のためにも住民登録の必要性を訴えた。
- ④ 新型インフルエンザの流行にともない、健康問題に関心が集まる中、予防方法や結核健診の早期受診、成人病予防について周知を行った。
- ⑤ 新たに生まれた地域資源(団体)の紹介や地域の出来事などにも留意して情報を発信した。

- ⑥ 窓口利用労働者に向けた「建退共」「熱中症予防」の啓発的な号外を適宜発行した。
- ⑦ センターだより号外として「短泊・簡宿無料宿泊の案内」「センター周辺マップ」や「地域資源案内」を作成し配布した。

年間の主要掲載記事は、表Ⅱ-11のとおりである。

(2) 労働者べんりちょう

仕事や生活に役立つと好評の『労働者べんりちょう』2010年版を12月に制作し、6,000部を配付した。行政関係や地域の諸団体・施設、33ヶ所の簡易宿泊所へ手渡しや送付を行った。

2009年度(平成21年度)医療、緊急措置相談状況

(表Ⅱ-9)

	医 療 相 談								緊 急 措 置 相 談												
	傷テープ	処 置	ティッシュ等		診療依頼	他機関 案内	救急車 依頼	合 計	短期宿泊 (自彊館三徳寮)					簡宿 紹介	疾 病 援 助			生 活 援 助			
			マスク	ティッシュ					相談	応募	依頼	宿泊	返戻		衣類	洗面セット	カイロ	合 計	相談	措置	返戻
4月	1,236	62	1,000	500	538	72	3	1,911	302	195	139	138	107	46	5	180		185	97	43	22
5月	903	46	1,100	1,030	388	37	0	1,374	381	181	130	130	115	52	0	164		164	70	18	21
6月	1,150	25	450	500	362	53	0	1,590	288	153	125	126	86	43	6	164		170	70	20	7
7月	1,346	47	200	1,000	341	56	0	1,790	275	120	108	107	90	39	9	137		146	54	14	10
8月	1,270	38	150	500	268	34	1	1,611	192	97	82	81	80	32	2	110		112	49	7	8
9月	1,126	37	250	500	227	41	1	1,432	172	85	79	79	78	29	2	105		107	30	9	6
10月	1,462	38	500	500	217	53	1	1,771	196	86	76	78	80	36	1	111		112	22	6	9
11月	1,302	35	850	1,000	198	40	1	1,576	205	97	88	88	84	39	5	123		128	41	9	4
12月	1,656	39	1,600	1,000	171	49	1	1,916	174	71	65	65	58	25	0	88	3,173	3,261	32	4	4
1月	1,366	31	2,200	1,500	184	34	1	1,616	172	76	68	68	74	37	0	91	6,925	7,016	31	5	2
2月	1,282	26	2,500	1,500	157	37	0	1,502	225	104	90	89	77	36	4	117	6,400	6,521	40	6	0
3月	1,462	32	1,850	1,500	182	30	2	1,708	317	155	125	123	108	53	5	167	2,251	2,423	51	13	5
年度合計	15,561	456	12,650	11,030	3,233	536	11	19,797	2,899	1,420	1,175	1,172	1,037	467	39	1,557	18,749	20,345	587	154	98
前年度合計	8,648	823	5,869	13,043	5,977	680	12	16,140	2,954	2,475	1,573	1,563	1,346	696	264	2,163	21,356	23,783	336	182	122
前年度比	79.9%	-44.6%	115.5%	-15.4%	-45.9%	-21.2%	-8.3%	22.7%	-1.9%	-42.6%	-25.3%	-25.0%	-23.0%	-32.9%	-85.2%	-28.0%	-12.2%	-14.5%	74.7%	-15.4%	-19.7%
前々年度合計	8,606	640	3,081	12,888	6,371	739	25	16,381	2,969	2,431	1,595	1,581	1,394	719	508	2,193	21,927	24,628	327	197	100
前々年度比	80.8%	-28.8%	310.6%	-14.4%	-49.3%	-27.5%	-56.0%	20.9%	-2.4%	-41.6%	-26.3%	-25.9%	-25.6%	-35.0%	-92.3%	-29.0%	-14.5%	-17.4%	79.5%	-21.8%	-2.0%
年度計画	9,000		16,000		6,000	650				1,600				720	2,600	22,500	25,100		220		

※ 医療相談の合計には、ティッシュ等は含まれていない。※ 2月1日から、短泊は1週間。簡宿は2週間の紹介になる。

※ カイロ支給は12月21日よりの予定を早めて12月15日(火)より開始。

2009年度(平成21年度) 労働関係、生活身上相談状況

(表Ⅱ-10)

	労働関係相談										生活身上相談											その他				
	就労関係		雇用保険		建退共手帳			合計	手続	戸籍住民票		健保・年金		住宅相談	所得証明	郵便物受け渡し		尋ね人	落し物	合計	手続	飲酒者	総合案内	その他		
	相談	手続	窓口	その他	案内計	相談	手続			相談	手続	相談	手続			相談	手続								受付	渡し
4月	119	23	0	12	16	28	16	6	186	6	192	22	15	3	3	0	104	70	9	7	400	25	54	351	715	
5月	69	20	0	10	160	170	14	10	273	10	79	9	14	3	9	1	146	120	6	1	376	12	64	206	916	
6月	92	33	0	15	113	128	12	5	265	5	112	18	21	3	15	15	328	278	12	11	792	21	87	210	1,005	
7月	51	11	0	12	88	100	13	5	175	5	77	9	15	2	9	5	317	338	5	8	774	11	102	179	773	
8月	46	4	0	8	29	37	8	1	95	1	69	5	11	2	4	0	218	201	5	7	515	7	104	142	575	
9月	46	9	0	10	65	75	9	4	139	4	59	5	7	1	6	1	115	153	4	4	349	6	81	123	462	
10月	44	9	0	9	40	49	10	6	112	6	37	2	16	3	2	0	103	132	9	2	301	5	102	132	413	
11月	58	11	0	6	57	63	12	5	144	5	34	7	11	1	3	0	55	75	16	1	195	8	88	122	345	
12月	57	12	1	6	5	11	7	2	87	3	36	6	3	1	5	0	61	51	4	2	162	7	72	125	384	
1月	72	19	0	6	77	83	9	3	183	3	34	3	18	1	7	1	56	75	7	3	201	4	95	121	401	
2月	94	18	0	9	76	85	10	4	207	4	29	3	16	0	8	0	44	53	7	4	161	3	94	118	311	
3月	84	21	0	12	11	23	17	9	145	9	35	6	8	1	4	0	65	69	9	4	194	7	122	117	389	
年度合計	832	190	1	115	737	852	137	60	2,011	61	793	95	155	21	75	23	1,612	1,615	93	54	4,420	116	1,065	1,946	6,689	
前年度合計	526	145	3	163	538	701	189	98	1,561	101	512	89	164	41	73	7	730	761	96	47	2,390	130	491	2,124	4,891	
前年度比	58.2%	31.0%	-66.7%	-29.4%	37.0%	21.5%	-27.5%	-38.8%	28.8%	-39.6%	54.9%	6.7%	-5.5%	-48.8%	2.7%	228.6%	120.8%	112.2%	-3.1%	14.9%	84.9%	-10.8%	116.9%	-8.4%	36.8%	
前々年度合計	664	207	8	259	50	309	223	103	1,403	111	543	110	233	53	92	2	970	954	98	59	2,951	163	462	2,493	4,693	
前々年度比	25.3%	-8.2%	-87.5%	-55.6%	1374.0%	175.7%	-38.6%	-41.7%	43.3%	-45.0%	46.0%	-13.6%	-33.5%	-60.4%	-18.5%	1050.0%	66.2%	69.3%	-5.1%	-8.5%	49.8%	-28.8%	130.5%	-21.9%	42.5%	
年度計画	600						200					85		40	70		1,800									

※ 建退共手帳の「その他」には職安での案内を2008年1月から技能講習での案内を同年7月から計上。「手続」には更新・再発行を含

※ 所得証明は、相談数を計上。

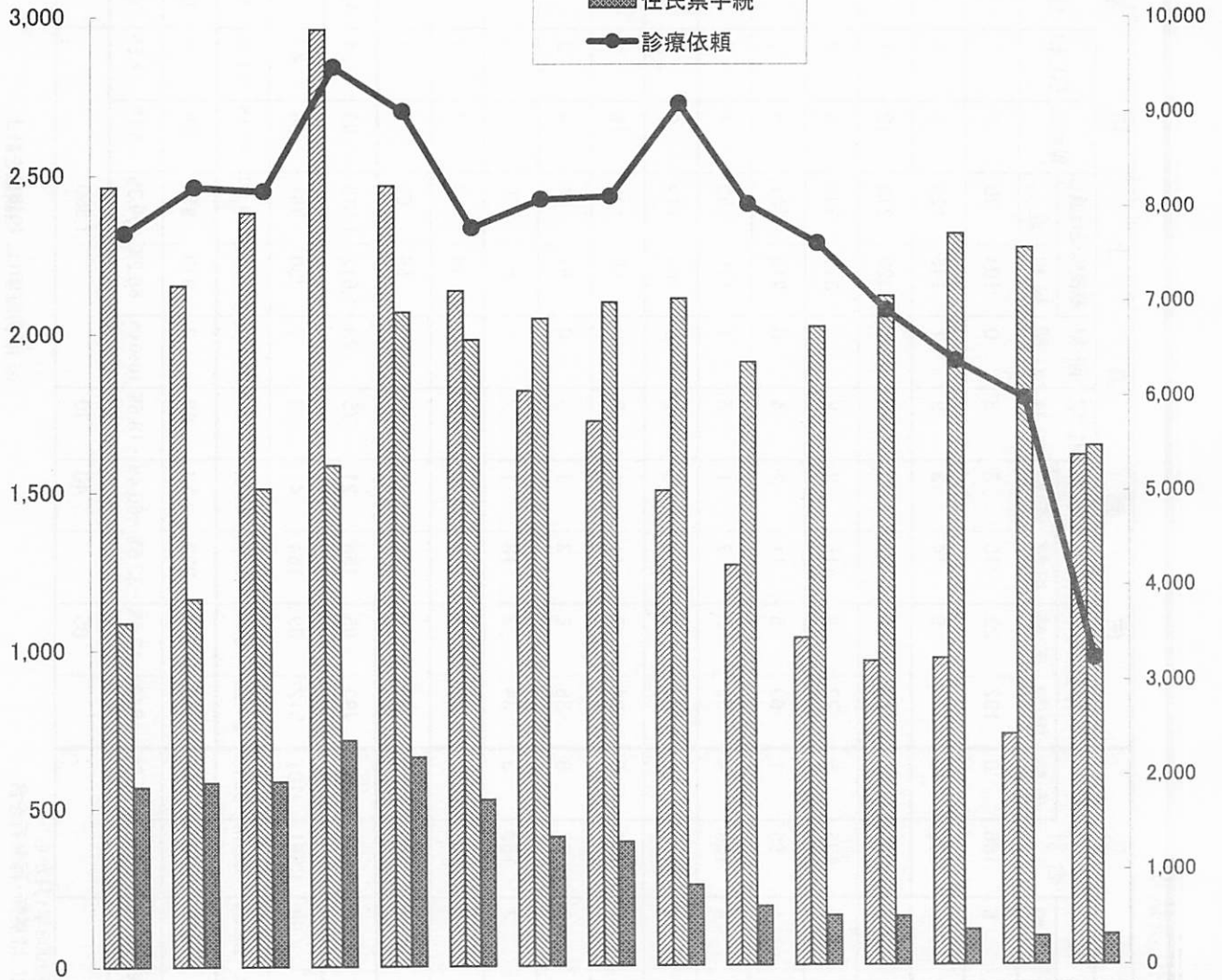
主な労働福祉業務の歴年的推移

(図Ⅱ-2)

棒グラフ
郵便物
宿泊紹介
住民票手続



折れ線グラフ
診療依頼



年度	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
郵便物受付	2,463	2,152	2,382	2,961	2,468	2,135	1,820	1,723	1,503	1,265	1,035	961	970	730	1,612
宿泊紹介	1,087	1,162	1,511	1,584	2,068	1,981	2,047	2,098	2,110	1,909	2,020	2,116	2,314	2,269	1,642
住民票手続	568	581	585	716	662	527	408	391	254	186	156	153	110	89	95
診療依頼	7,721	8,211	8,171	9,474	9,010	7,780	8,081	8,114	9,093	8,032	7,614	6,906	6,371	5,977	3,233

〈注釈〉 郵便物受付とは、生活身上相談の郵便物受付件数
 宿泊紹介とは、緊急措置相談による短期宿泊依頼数。1999年以降は、簡宿紹介との合計数
 住民票手続とは、生活身上相談の戸籍住民票手続件数
 診療依頼とは、大阪社会医療センターへの診療依頼書の発行枚数

「センターだより」過去4年間の主要掲載記事

【2006年度(平成18年度)～2009年度(平成21年度)】

(表Ⅱ-11)

		4月号	5月号	6月号	7月号	8月号	9月号	10月号	11月号	12月号	1月号	2月号	3月号	常設記事
2006年度	1面	技能講習を受講したみなさんの声 石綿講習案内 特掲登録案内	「歴史発見ウオーク」報告 特掲登録者終了	わが社は小さなゼネコンですわん 地域貢献事業	建退共で退職金を手に入れたぞ 熱中症を防ごう	大阪三大祭 新世界42年ぶり盆踊り たそこん案内 シャワー室開放	初の飯場検診実施 東大阪の仲間が集まりました 将棋愛好者のつどい案内	住之江・住吉公園就労体験 日章倒産相談案内 将棋愛好者のつどい案内	飯場で結核発病 どうする？ (結核の豆知識)	インフルエンザに注意！ ノロウイルス 感染症 便利帳配布案内 淀工が金貸！	2007新年号 全国の雑煮 カイロ配布案内 便利帳配布案内	西成防災記事 倒産に伴う立替払い	2007年度特掲登録案内 短泊・簡宿案内	・求人情報 ・技能講習案内 ・『カマヤン』 ・およびだし ・たずねびと ・結核検診結果
	2面	新レントゲン車登場！ 「歴史発見ウオーク」案内	花見ごろ(中之島・城北公園) センターだよりを囲む座談会	アルミ缶集め カントリーロード	アブレ手帳激減 なぜ！? 事業所懇談会の報告	労働条件をよく 確かめよう！ センター事業への協力ありがとう	たそこん報告 労災相談案内	新レントゲン車のその後 石綿業務に従事した離職者特別健康診断	将棋愛好者の集い(報告) 越年対策事業 結核健診実施 特掲ペンキ記事	越年結核健診 南港臨時宿泊 賃金相談窓口 石綿特別健診 関係機関窓口 業務状況	理事長挨拶 クロスワード カイロ配布案内	釜協住民票問題 石綿業務に従事した離職者健康診断経過 クロスワード 回答と当選者	技術者継承 エキストラ 130名雇用	・投稿 ・釜ヶ崎日誌 ・建退共手帳預かってます ・詰め将棋
2007年度	1面	技能講習案内 特掲登録案内	住民票抹消問題の影響いまだおさまらず 特掲登録者数・登録者の声	歯科診療	技能講習アンケート結果 センター事業への協力ありがとう	ロンドンみやげ話(むすび)	ブラカードでしっかり条件確認(労働相談記事) 血圧記録・出向表 電音が替がなくなる	仕事中ケガをしたら(労災記事)	それでも作ろう 建退共手帳 求人年齢制限 撤廃！	旧木津村 歴史 発見ウオーク	センターだより 30周年記念号 カイロ配布案内 便利帳配布案内	雇入通知書で契約内容を確かめて 求人状況 アンケートから	キャリアカウンセリングってなんやねん	・求人情報 ・技能講習案内 ・『カマヤン』 ・およびだし ・たずねびと ・結核検診結果
	2面	今までの歴史 発見ウオーク 「歴史発見ウオーク」案内	「歴史発見ウオーク」報告	歯科治療状況 センターだより 座談会	西成市民館 事業所懇談会の報告	技能講習 習熟講習 たそこん案内 シャワー室開放	短編映画「釜ヶ崎のレーニン」上映 将棋愛好者のつどい案内 歴史発見案内(秋篇)	将棋愛好者の集い(報告) 越年対策事業 結核健診実施 について	越年結核健診 南港臨時宿泊 賃金相談窓口 便利帳配布案内 関係機関窓口 業務状況	理事長挨拶 クロスワード	2008年度特掲登録案内(絵入り) クロスワード 回答と当選者	製造派遣求人 に注意 新規特掲登録を 申し込むには	・投稿 ・釜ヶ崎日誌 ・建退共手帳預かってます ・詰め将棋	
2008年度	1面	技能講習案内 特掲登録案内	アスベスト事例報告 アスベストって心配になったら 診断がでたら	「歴史発見ウオーク」報告 まちの花屋さん がオープン	知ってましたか 自転車ルール 日章・栄建工業の 時効迫る	ふるさとの夏の思い出 日章・栄建工業の 時効迫る	400号記念懇談会 本人負担ゼロで 退職金 職種転換・習熟 講習案内	「歴史発見ウオーク」報告 求人開拓あれこれ① あいりん労働調査 協力依頼	ネットカフェに 難民? どういう こっちゃ 求人開拓あれこれ 市民館まつりで 相談コーナー	夢を打ち上げる んやない夢で 打ちあげるんや (まいど1号) カイロ配布案内	派遣労働と派遣 切りの実態 求人開拓あれこれ③	ライフサポート 路木 ハルーンリリース 求人開拓あれこれ④	・求人情報 ・技能講習案内 ・就活セミナー ・『カマヤン』 ・およびだし ・たずねびと	
	2面	コッルーム朗読会	新人ヘルパー がんばれ前編 「歴史発見ウオーク」案内	新人ヘルパー がんばれ後編	雇入通知書の 発行を 事業所懇談会 の報告 センター事業 協力お礼	消えたらあかん ワシの年金 たそこん案内 シャワー室開放	鉄筋工が語る現場 からの叫び 歴史発見(秋篇) 案内	将棋愛好者の集い(報告) 越年対策事業 結核健診実施 国保証が変わりました	越年結核健診 南港臨時宿泊 賃金相談・べんり帳 シャワー室開放 関係機関窓口 業務状況	理事長挨拶 クロスワード	2009年度特掲登録案内 クロスワード 回答と当選者	定額給付金 きちんと住民票	・投稿 ・釜ヶ崎日誌 ・詰め将棋	
2009年度	1面	08年技能講習 受講者の声	いよいよ始まる 緊急雇用対策 求人開拓あれこれ⑥	予防が第一・手洗 いとうがい 求人開拓あれこれ⑦	事業所・労働者 数多くの悲鳴が 事業所懇談会 報告 求人開拓あれこれ⑧	今でも忘れられない 記憶が(戦争体験) 求人開拓あれこれ⑨	人間のよさ・音楽の 力がこもった世界一の 舞台(たそこん) 求人開拓あれこれ⑩	緊急雇用対策 現場訪問記 求人開拓あれこれ⑪	転んでもタダでは 起きんぞ新たな出発 (労災相談) 求人開拓あれこれ⑫	将来に向かって 土台づくりを (技能講習) 求人開拓あれこれ⑬	SHIRAGO☆NISHIMARI 新春インタビュー 宿舎調査報告 求人開拓あれこれ⑭	基金事業で働いた 方に聞きました しくみを ハローワークあべの 移転のお知らせ	・求人情報 ・技能講習案内 ・就職活動講習会 ・『カマヤン』 ・およびだし ・たずねびと	
	2面	まだ間に合う 特掲登録 求人開拓あれこれ⑤	特掲登録者状況 定額給付金請求 は済みましたか 「歴史発見ウオーク」案内 サンパワ写真家講演会	緊急雇用特掲 紹介Q&A カマン!メディア センターがオープン	七夕さまに 願いをこめて センター事業 協力お礼 定額給付金請求 は済みましたか	不況のしわ寄せが この人にも(前編) たそこん案内 シャワー室開放 緊急雇用輪番注意	不況のしわ寄せが この人にも(後編) 将棋愛好者のつどい案内	あなたのセフティ ネットは大丈夫? 庚申街道歩き 案内	将棋愛好者の集い(報告) 越年対策事業・結核 健診実施について 新年号作品募集	理事長挨拶 新年投稿特集 カイロ・石鹸 お礼	2010年度特掲登録案内 花見の見所	・投稿 ・釜ヶ崎日誌 ・詰め将棋		

緊急雇用創出事業って、どんなん？

先月号でもお知らせしたように、6月から緊急雇用創出基金事業が始まっています。実際には、どんな働き方をするのか、紹介方法はどうかになっているのか、くわしく聞きました。

Aさん：緊急雇用の仕事から始まるんやろ？
センター：月8輪番の「特別清掃」のみです。1日だけ就労の「センターガードマン」、3日連続就労の「センターガードマン」、そして今回の、月に8日の仕事です。
高齢者特別清掃に登録しているみなさんが、この3種類の輪番で回るので、慣れるまでちょっとややこしく感じられるかもしれませんね。

Aさん：たとえば、1000番の人だったらいつごろ回ってくる？
センター：6月の仕事に行ってもらって123人を、5月29日に紹介しましたが、番号は191番まで回りました。毎月最終の金曜日に翌月就労の123人を紹介しますので、この調子だと4~5ヶ月ぐらいいあとになりそうです。
実施期間である2年10ヶ月の間に2回は回ってきますよ。

Aさん：ひと月に8日間の仕事って聞いてるけど、いつ動くんや？
センター：「地域外」も「ペンキ塗りの（月火・水木・金土）のグループ」に分かれます。たとえば月火グループを選ぶと、4週連続で月曜と火曜が就労日になります。

ペンキ塗りの現場で聞いてみました。特掃の現場と比べてどうですか？
『緊急雇用の分は朝の集合がちょっと早くて、終わるのもちょっと遅いねん。』
収入が少しだけ増えましたね。
『おかげでドヤにも泊ってるよ。』
『ちょっとエエもんも食えるし、ビールも飲めるわ。』



Aさん：緊急雇用創出事業にこの1ヶ月は、特掃やセンターガードマンは行かれへんって聞いたけど？
センター：そうです。その月1ヶ月間は、まるまる、特掃にもセンターガードマンにも行けません。

Aさん：そら、あんまりやんか！
センター：でも、1日あたりの求人合計が41人増えることは確かです。それに123人が毎日の特別清掃からはずれることで輪番の回りもかなり速くなるはずですよ。

7月の技能講習

床上操作式クレーン（5ト以上）、アーク溶接、ガス溶接、職長・安全衛生責任者、高所作業車、小型移動式クレーン、玉掛け、車両系（整地ほか用）が受付中です。

* 選考・説明日の一ヶ月前から前日まで、受講の申込みを受け付けます。
詳しくは技能講習係まで ☎06-6641-0325



結核健診

健診日程

- 6月16日(火) 14:30~16:00 センター南側
- 7月7日(火) 10:00~12:00 センター北側
- 7月14日(火) 9:30~11:00 医療センター南側
- 7月21日(火) 14:30~16:00 センター南側

西成区太子一丁目11番6号
TEL: 06-6643-3133
だいたい年中無休
10:00~18:00
10:00~18:00は昼休み

▲事務所の内装は学生たちの手作り

飛田本通商店街に 新規オープン！

6月1日(月) 飛田本通商店街の動物園前一番街に「カマヤん」メテ「センター」がオープンしました。「いったい、何をやる所なんやろ？」—早速訪ねてみました。

話をしてくれたのは、スタッフの平川さんと原田さん。『通りのすがりのおじさんや、子どもたちから観光客まで、いろんな人が立ち寄って、教えたり教えられたりしながら、蓋ヶ崎の情報を外へ向けて発信する基地にしたい。』この話。『蓋ヶ崎にはいろいろ助け合いがあるけれど、そんなときには二人行けばよいのか、そんなことがいっぺんに分かる場所にした。』とも。

70年大阪万博の前頃からの古い写真も、次々と大型画面に映し出されて、懐かしい西成の風景をいつても見ることが出来ますよ。

およびだし

(敬称略)

1月4日~6月10日受付分

（内は出身地と年齢）

「俳句 二句」

萩の里 古き良きかな 萩の町
あじさいは 小雨にぬれる つゆの花
松本可朝

「短歌 三首」

給付金もらえぬはずが もらいけり
押し花おして 葉にしよか
今日もあり 明日もあるさ 世の中は
腹立つことは 忘れることや
ありがたう ごめんなお母ん 出ぬ声で
そっと大事に 夢をつつみて
アルミ缶 23号

詩集「明日とは 十三」

私(介護者)は
あなた(利用者)に話しかけます
あなたが悩んでいることに問いかけます
死の世界には喜怒哀楽はない
生きていく姿にこそ喜びがあり
楽しみもある
人生の過程で何をやるのか
何を指すのか考えるのも
人の道かも
それが遅かろうとも
築いたときこそ

その人が真の幸福をつかむ証でしょう

詩集「明日とは 十四」

年齢は生命力を消してゆく
生命力は生きることで
叫んだ若き青春は
時として想い出にありつつある
しかし人間として生きる限り
いつまでも人間らしく生きてゆきたい
と願うのは人間としての定めであらう
それを奪うことはできない
まして暮らすこともできない
それよりも尊重してゆかねばならない
それが人と人との絆のドラマです

詰将棋の回答

▲2手目から白の駒を動かす
▲3手目から黒の駒を動かす

▲1手目から白の駒を動かす
▲2手目から黒の駒を動かす

▲3手目から白の駒を動かす
▲4手目から黒の駒を動かす

▲5手目から白の駒を動かす
▲6手目から黒の駒を動かす

たずね人 (敬称略)

藤井武	(大阪)
岸本富治	(大阪)
江浦純一	(熊本)
樋口一弘	(宮崎)
浜野正一	(大崎)
山本亮弘	(兵庫)
宮脇留義	(鹿児島)
清水康典	(大分)
上間辰雄	(沖縄)

蓋ヶ崎日誌

5/1 蓋ヶ崎メーデーで、地域の諸団体が集会やデモ。

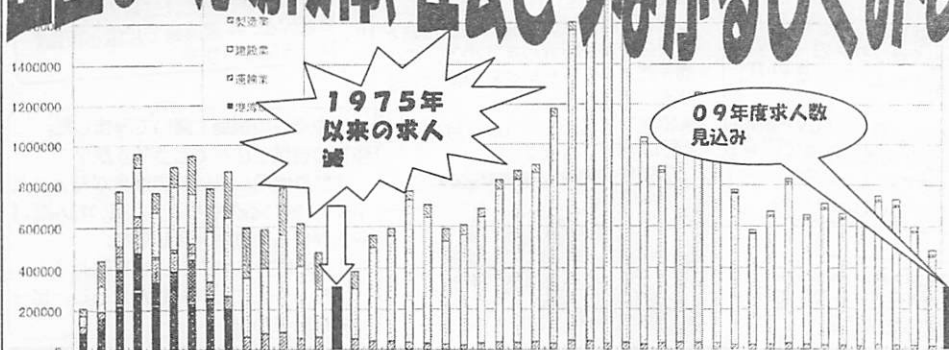
5/18 定額給付金の特設相談窓口が西成区役所1階に開設。

センターだより

第418号
2010年 3月15日発行
(財)西成労働福祉センター
大阪市西成区萩之茶屋 1-3-44
☎06-6641-0131

35年前のオイルショック時と同じ求人水準のまま、年度末を迎えます。
登録事業所からは、「出口の見えない長いトンネルのなかにいるようだ」との声が共通しています。
リーマンショック後の世界同時不況は、『地区にどんな影響と問題をもたらしているのか』、全港湾西成分会の泊委員長にも参加をいただき、座談会を行いました。

出直し・現場復帰、社会とつながるしくみを



オイルショック時は、下支えの制度が機能数字上は確かに35年前のオイルショック時と同じ水準で、寄場の閑散ぶりは同じでも、今とはまったく違う状況だと思います。

その当時の労働者は平均年齢が40才代と若く、仕事を求めて各地に散っていきました。オタオタしたけれど、対応力がありました。

1974年には日雇雇用保険が全面適用になり、業者は印紙を必ず貼らなければならなくなりました。手帳を持つ労働者数は14,000名ほどでした。

75年には日雇健康保険の給付内容が大幅に改善されました。

こうして、不十分なながらも失業時に生活を下

支えする制度が機能していました。

さらに、76年には「建設労働者の雇用の改善等に関する法律」が施行されました。

国の経済成長を進めようという明確な方向のもと、建設業はその中心に据えられ、寄場も次第に活気を取り戻していきました。

制度を利用できない、多くの人たちが

今回の不況は、07年の建築基準の厳格化による工期の遅れや原油高による資材価格の高騰など、世界同時不況以前からも続いており、大変長期間にわたります。

とくに、公共工事の予算が年々削られ、国の経済政策の中で建設業のあり方や方向がみえなくなり、大きな不安を抱えながら仕事せざるをえません。

また、あいりん職安での雇用保険の手帳所持者数が2,100名まで激減し、生活を下支えする制度を利用できる労働者が限られてしまいました。

その結果、高齢者をはじめ生活を維持できなくなった労働者が、生活保護の申請を行い、今年度新たに3,000名以上が受給しています。



より安定した仕事をさがすAさん

先日、技能講習の受講経験がある若い労働者が、窓口を訪ねてくれました。
本人は現在、生活保護受給中ですが、「受給

して一息つけたのはつかの間で、時間だけがたっぶりあるため、酒びたりになりました」

「こんなことしてたらアカンと思い直し、仕事を求めて職安まわりをはじめたけど、なかなかみつかりません」

「仕事をしなくなると、人とのつながりが切れてしまって孤立するのが一番つらいです」と話してくれました。

「ケースワーカーからは、日雇仕事だと不安定なので、常用就職を目指すように指導される」とも言っていました。



現金就労、きちんと収入申告

久しぶりに顔をみせてくれたBさん。「ずっと飯場で働いていたんやが、仕事がなく持病の腰痛が悪化したこともあって、今は生活保護を受給しているんや」

「ただ、体力を維持するためにも、現金仕事があれば連絡をくれるように、業者に頼んでいるんや」

「働いたことを役所に収入申告さえすれば、何も問題はなide」と話してくれました。



軽作業に就労するBさん

65才になるCさん。「部屋に閉じこもったままでは、しんどい」「生活保護受給中は持掃では働かれへんし、体力も衰えたから、週2日・3時間の清掃の仕事を見つけたんや」

「もちろん、ちゃんと役所には収入申告してるで」と話してくれました。



いろんな働き方ができる、しくみづくりを建設業の方向が定まらず、求人の減少を補う雇用の創出が不十分な中でも、約一万人の日雇労働者が、現役で踏みとどまっています。

技能講習などで、より安定的な就労へ誘導する支援を充実させることも欠かせません。

そして、失業した時に生活を下支えする制度がきちんと機能するように、再整備することが必要です。

仕事は、生活の糧を得るだけでなく、人と人とを結びつける上で欠かせないものです。

個人々の生活状況に応じて、いろんな仕事と生活保障の制度を組み合わせるなど、選択の幅を広げるしくみづくりが求められています。

ハローワークあべの 移転のお知らせ

移転先

〒545-0052

大阪市阿倍野区阿倍野筋1-5-1
あべのルシアス8階

☎ 06-6631-1675

新庁舎での業務開始日
2010年3月23日(火)



森先生の
詰め将棋
(五手詰) 持駒なし

1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									

答えは裏面に掲載

2月の求人数	対前月増減比	前年同月増減比	
現金(日払い)	29,120	8.9%	-9.1%
契約(延べ数)	21,573	-16.6%	13.9%
センター窓口	3,888	-0.4%	82.8%
高齢者清掃	6,276	-0.2%	35.3%

度予算が成立する見込み。
その上、公共事業費が18%減の10年

あったかくなるし、花も咲く。
でも、建設業にとって、春は仕事の端境期(はざかいき)。
その上、公共事業費が18%減の10年度予算が成立する見込み。
その上、公共事業費が18%減の10年度予算が成立する見込み。
その上、公共事業費が18%減の10年度予算が成立する見込み。

求人情報

カマヤん おひだし



おん、カマヤんの作物や！ エライやっちゃ



結核健診日程

- 8月18日(火) センター南側で 14:30から16:00まで
- 9月1日(火) センター北側で 10:00から12:00まで
- 9月8日(火) 医療センター南側で 9:30から11:00まで
- 9月15日(火) センター南側で 14:30から16:00まで

不況のしわ寄せがこの人にも(前編)

昨年からの世界同時不況とそれに続く非正規労働者の大量解雇などで、センターにもこれまでになかった相談が寄せられるようになりました。センターでは従来の個別の対応だけでなく、相談者の職業生活全般を見据えたお手伝いが必要なのではないかと話し合ってきました。そんな中で知り合った「Nさん」のお話。2回にわたってお知らせします。

64歳にして初めての特掃登録
「Nさん」の目的は2009年度の高齢者特別清掃への登録でした。64歳になる今年まで、なぜ登録しなかったのか、Nさんのこれまでを聴かせてもらいました。

定時制高校から電気関係へ
「兄貴も東京で夜間高校へ行ってきたが、私も『中学出たら働け』と父親から言われ、半分無理やりみたいなのに四国を出たんです。

「就職して定時制工業高校の電気科に入学。卒業してからはずっと電気関係できましたわ。」

「義理の兄さんに紹介された会社を辞めたことがあって、それから親や兄妹に顔を合わせにくくなってしまいましたね。住民票もこのときに愛知県に置いたままにしてしまっただけです。」

「自分で探して入った工事会社で重役に気に入られ図面引きから営業や秘書もやりました。やっと調子に乗ってきたかな？と思ってました。」

「ゼロ」から再スタート？
「ところが、何かの事件でこの重役がクビになって、私までクビに…、このときに私は『ゼロ』に戻ろうと思いました。」
「住民票も持って来てないし、免許ももう要らんわ。とにかく日銭を稼いでやり直そうってね。」

日雇いの生活へ
「新開地で見つけた港湾荷役、日銭を稼ぐにはこれや！って、それからずっと日雇いです。平成元年の頃に西成へ。偶然、昔の仲間会って建設現場入りですわ。ちょうど鉄筋工事の全工程を経験できる出張があったんで、一からしっかり習いました。でも55才くらいから体力的にだんだんきつくなって、西成でもちょっとずつ港湾荷役に戻っていきましたね。」

それで初めての特掃ですか？
「そうです。今までこんなにブツリと仕事なくなるなんてなかったですから…。今度はどうにもなりませんわ。」
(そう、百年に一度とかいう大不況のためか、今年はそんな人の特掃登録がほんとに多かったです。)

人生の再設計を相談
故郷との音信が途絶えて約40年、ずっとひとりで頑張ってきたNさん。この大不況時代、①特掃登録の次には、②住所の設定をして、③生活保護の申請もしますか？と時間をかけて話し合いました。

①まずは特掃登録
特掃への新規登録の時には、年齢を証明できるものが必要です。証明がない人に、先々のためにも住民票を取り寄せるのもこの時期のセンターの仕事です。住民票が本籍地に返されていると予想していた「Nさん」は、それどころか、失踪宣告により、すでに「死亡」とみなされていたのです。

(本籍地の役所が戸籍の照会に応じたことが生年月日の証明になり、特掃の登録は無事に完了しました。)

「失踪宣告」に憤るNさん
「田舎には何にも迷惑かけてへんし、進学もあきらめて黙って大阪へ出たのに、何でそのオレを死んだことにまでせなあかんのですか？」

興奮して憤る「Nさん」に、①失踪宣告は「オレは生きてるで！」って申し出たぐらいで取り消せるものではないこと。②田舎では、区画整理や道路拡張などのときに役所から求められて、行方不明家族の失踪宣告を「やむを得ず」しなければならぬことがあること。などを説明してようやく納得してもらいました。

来月号につづきます

輪番の回りがとても早くなっています!!
(月に8回就労の)緊急雇用の輪番紹介、次回(9月分)紹介は**8月28日午後3時30分、789番から。ご注意ください!**

シャワー室 無料開放

8月17日(月)から
8月21日(金)まで
午後3時45分から午後6時15分

忘れがれコンサート

今年20年目の来演!!
淀川工科高校吹奏楽部
日時：9月10日(木) 午後6時15分~
場所：三角公園
雨天時は9月11日(金)に順延

詩集「明日とは十六」
人生に表と裏があるように
介護の世界にも表と裏がある
たしかに楽しく
生きがいを感じる時がある
しかし、そこにはつらく悲しい面が
あることを忘れてはならない
それを一步一步のり越えて
ゆかねばならない
のり越えるたびに喜びがあり
生きがいを感じる
たしかに人間の胸の中には
うきうきと怒りがあるものがある
これらの罪に勝つてこそ
介護の道が開く
私は信じています
萩幸四郎
「短歌二首」
手を上げた母の瞳にあふれる
無言の愛は今も心に
死ぬまでは愚痴と不満をあの世まで
土産がわりにとっておこうか
アルミン 23号

詰将棋の回答

- 2七飛 1六玉 2五飛
- 3八桂成 1五玉まで
- 2五飛の一手です。
- 1七玉は1
- 2七飛が正着です。
- 1六玉の玉
- 3七飛は同様に読みませ
- 初手
- 3八桂成 1五玉まで

およびだし

(敬称略)
3月1日~8月10日受付分
(内は出身地と年齢)
上原 重光
森田 勝美
熊沢 英雄

たずね人(敬称略)

- 江浦 純一 (熊本)
- 樋口 一弘 (宮崎)
- 浜野 正一 (大阪)
- 山本 亮弘 (兵庫)
- 宮脇 留義 (鹿児島)
- 清水 康典 (大分)
- 上間 辰雄 (沖縄)
- 有末 千秋 (広島)
- 山田 敏幸 (大阪)

釜ヶ崎日誌

7/11 臨時夜間緊急避難所(シエルタ)の運営法やあり方について、大阪市と地域分組等が1回目の話し合い。
7/3~4 「2009夏 西成市民館健康まつり」に、延べ5000人が参加。
7/11 人権文化センターにて、「大阪希望館」設立記念集会開催。名付け親の難波利三さんらがあいさつ。

雇用保険業務取扱状況【あいりん労働公共職業安定所】 (表Ⅱ-12)

年 度	保 険 金 給 付				日雇労働被保険者手帳	
	給 付 数	実人員	延 べ 日 数	1日平均	新規交付	年度末有効求職者数
2001(平成13)	746,748	9,397	1,311,069	3,034	1,519	12,710
2002(平成14)	643,604	8,224	1,149,711	2,621	1,010	10,491
2003(平成15)	557,661	7,067	991,085	2,254	950	9,027
2004(平成16)	425,469	5,632	780,987	1,741	763	7,356
2005(平成17)	320,208	4,322	590,184	1,308	559	5,696
2006(平成18)	209,068	2,889	380,729	850	417	4,203
2007(平成19)	157,499	2,174	286,501	641	246	3,427
2008(平成20)	130,709	1,794	235,681	536	208	2,990
2009(平成21)	80,737	1,144	147,953	332	154	2,025

健康保険取扱状況【玉出年金事務所・全国健康保険協会】 (表Ⅱ-13)

年 度	被 保 険 者 手 帳				年 度 末 有 効 手 帳	受 給 資 格 者 証				受給資格 確 認	傷病手当 件 数
	新 規	更 新	再 交 付	計		新 規	更 新	再 交 付	計		
2001(平成13)	911	4,810	676	6,397	6,676	609	4,442	543	5,594	40,954	326
2002(平成14)	549	4,039	520	5,108	4,957	476	5,491	431	6,398	33,371	257
2003(平成15)	491	3,352	372	4,215	4,043	331	2,779	291	3,401	29,031	197
2004(平成16)	351	2,641	347	3,339	3,152	260	2,145	261	2,666	21,897	122
2005(平成17)	249	1,989	234	2,472	2,262	193	1,711	193	2,097	16,936	93
2006(平成18)	191	1,346	178	1,715	1,636	132	1,171	148	1,451	11,135	61
2007(平成19)	112	1,017	129	1,258	1,209	74	914	97	1,085	9,486	92
2008(平成20)	77	720	104	901	957	61	586	80	727	5,442	-
2009(平成21)	53	436	73	562	617	38	333	57	428	2,981	-

※ 傷病手当は、2008年度より全国健康保険協会へ移管

シャワー室無料開放状況 (表Ⅱ-14)

年 度	夏 期		冬 期		合 計	
	日 数	利用者	日 数	利用者	日 数	利用者
2001(平成13)	6日間	1,708	4日間	797	10日間	2,505
2002(平成14)	6日間	1,726	4日間	660	10日間	2,386
2003(平成15)	6日間	1,600	4日間	679	10日間	2,279
2004(平成16)	6日間	1,538	4日間	687	10日間	2,225
2005(平成17)	5日間	1,049	5日間	835	10日間	1,884
2006(平成18)	5日間	1,269	5日間	800	10日間	2,069
2007(平成19)	6日間	1,607	4日間	734	10日間	2,341
2008(平成20)	5日間	1,222	5日間	1,052	10日間	2,274
2009(平成21)	5日間	1,417	5日間	992	10日間	2,409

Ⅲ 施設管理運営事業

Ⅲ 施設管理運営事業

1 日雇労働者福祉施設の受託経営

日雇労働者の就労斡旋並びに福祉の向上を目的に建設された、あいりん労働福祉センターの管理運営を大阪府から受託している。受託事業の内容は、労働施設の機能を維持すること及び福利施設の経営である。

労働施設の具体的な機能としては、就労斡旋施設や日雇雇用保険・健康保険認定事務のための労働者の待合施設としての機能の維持である。

福利施設の運営に関しては、食堂・売店・理髪店・シャワールームなどの経営委託の他、小間割売店への施設貸付業務を行い、低廉で行き届いたサービスがされるよう委託業者等の指導を行うことにより、施設利用労働者の福利厚生を図った。 (表Ⅲ-1、2)

(1) 施設管理業務

あいりん労働福祉センターのシャッターの開閉業務、娯楽施設の適正な利用、受電設備等の維持管理、防火管理、衛生管理、施設内の秩序維持、場内指導等の日常業務を適正に行い、日雇労働者福祉施設の機能維持を図った。

管理室を訪問した労働者 月平均 55名

(2) 福利施設事業者等への指導

食堂・売店・シャワールームや理髪店等の委託業者及び小間割売店の業者に対して指導を行い、施設利用労働者の福利厚生を向上を図った。

食堂・シャワールーム等の委託業 5業者 6店舗
小間割売店の業者 11業者 12店舗

(3) 環境美化業務

あいりん労働福祉センターの環境美化を図るため、日常清掃、消毒、放置自転車の整理、落書きの始末等を行った。

放置自転車の整理 日平均 111台
自転車の処理(撤去) 年間 111台
落書き 月平均 13件

(4) 事故対策業務

シャッター閉鎖時の妨害・暴行傷害行為への対応、焚火の始末、設備等破損の修復、便所・下水の詰まり等への対応措置を行った。

職員への業務妨害・暴行傷害 年間 79件

(5) 労働者救護業務

あいりん労働福祉センター内において、負傷・疾病労働者の救護や泥酔者の緊急保護を行った。

年間 83名

2 あいりん労働福祉センター特別清掃事業

(表Ⅲ-3)

あいりん労働福祉センターの環境美化と、就労機会の減少している地区高年齢日雇労働者の就労機会の確保を図るため、特別清掃事業を実施した。

月平均 598名

2009年度（平成21年度）

あいりん労働福祉センターにおける事案の発生と措置状況

（表Ⅲ－1）

事案の内容	年間数	月平均	前年度	前々年度
負傷者・病人の救助	83名	7名	103名	88名
盗難事件の措置	1件	—	1件	1件
変死者の措置	3名	—	4名	3名
消火活動・焚火の始末	6件	—	8件	18件
場内放置自転車の処理（撤去）	111台	9台	41台	169台
落書きの始末	161件	13件	301件	73件
シャッター閉鎖時の妨害職員に対する暴行・傷害	79件	7件	119件	106件
泥酔者の連れ出し	8,664名	722名	11,640名	11,776名
設備等の破損	274件	23件	197件	165件

2009年度（平成21年度）

あいりん労働福祉センター利用状況

（表Ⅲ-2）

施設区分		施設委託業者 (5業者6店舗)		小間割売店 (11業者12店舗)	
月別	年度	利用延人数	営業日数	利用延人数	営業日数
4月	2008年度	48,202	174	17,726	287
	2009年度	49,927	169	14,007	270
5月	2008年度	49,421	160	17,802	268
	2009年度	25,400	157	13,304	267
6月	2008年度	68,699	168	17,417	260
	2009年度	29,756	169	13,163	270
7月	2008年度	70,595	173	18,510	268
	2009年度	37,195	173	14,174	270
8月	2008年度	49,918	168	19,000	262
	2009年度	39,380	168	14,873	269
9月	2008年度	50,618	160	17,336	268
	2009年度	34,672	162	13,979	266
10月	2008年度	51,716	173	18,735	276
	2009年度	31,179	170	15,102	275
11月	2008年度	59,306	159	16,211	265
	2009年度	23,623	156	12,749	255
12月	2008年度	32,567	168	15,526	265
	2009年度	27,314	156	12,279	257
1月	2008年度	45,865	156	13,466	239
	2009年度	33,828	149	13,727	249
2月	2008年度	48,144	160	13,352	253
	2009年度	33,618	156	10,860	244
3月	2008年度	45,375	174	14,035	276
	2009年度	32,830	174	11,850	274
計	2008年度	620,426	1,993	199,116	3,187
	2009年度	398,722	1,959	160,067	3,166
前年対比		-35.7%	-1.7%	-19.6%	-0.7%

* 平成21年度は2店舗廃業

2009年度（平成21年度）

あいりん労働福祉センター特別清掃事業 作業員就労状況

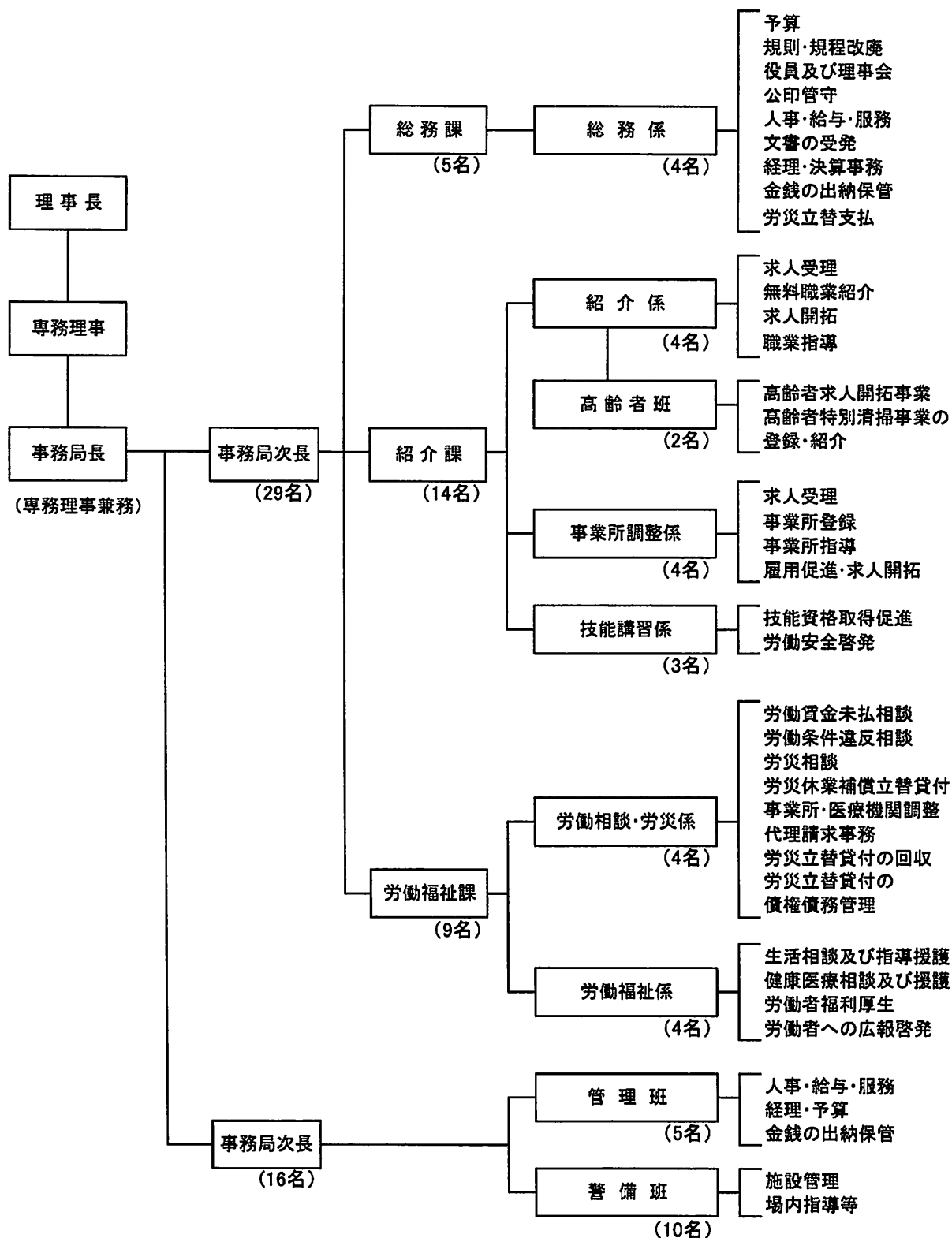
(表Ⅲ-3)

	就 労 者 (人)	不 就 労 者 (人)	合 計 (人)
4月	598	2	600
5月	612	8	620
6月	598	2	600
7月	616	4	620
8月	618	2	620
9月	594	6	600
10月	614	6	620
11月	600	0	600
12月	595	5	600
1月	555	5	560
2月	559	1	560
3月	619	1	620
合 計	7,178	42	7,220
前 年 度	7,150	70	7,220
前々年度	7,219	21	7,240

組 織 図

平成22年4月1日現在

(分 担 事 務)



現員合計 45名 (理事長、専務理事を除く。再雇用者を含む。)

沿 革

1961 (昭和36) 年	8月 1日	第1次釜ヶ崎暴動
1961 (昭和36) 年	9月 1日	大阪府労働部西成分室開設
1962 (昭和37) 年	9月21日	設立許可 (労働省収職第1320号) 同日 財団法人西成労働福祉センター設立
1962 (昭和37) 年	9月28日	無料職業紹介事業許可 (労働省収職第1420号)
1962 (昭和37) 年	10月 1日	業務を4部制で開始 (分室建物使用)
1963 (昭和38) 年	5月15日	事務所建物完成 (西成区東入船町23)
1963 (昭和38) 年	6月10日	求職の登録制度開始
1964 (昭和39) 年	9月	日雇労働者健康保険加入手続き事務開始
1965 (昭和40) 年	6月	日雇労働者失業保険加入手続き事務開始
1966 (昭和41) 年	4月 1日	労災立替貸付業務開始
1966 (昭和41) 年	6月	『釜ヶ崎』を『あいりん地区』と改称
1970 (昭和45) 年	6月25日	寄附行為一部改正 (2条、4条、13条、21条、22条及び附則)
1970 (昭和45) 年	10月 1日	あいりん労働福祉センター完成 事務所を現位置に移転 (西成区西入船町28)
1970 (昭和45) 年	12月30日	求職の登録制度廃止
1971 (昭和46) 年	9月 7日	日雇労働者福利厚生措置事業開始
1972 (昭和47) 年	6月28日	第15次釜ヶ崎暴動
1972 (昭和47) 年	8月 1日	大阪府労働部に特別対策室設置
1974 (昭和49) 年	6月28日	事務局組織改正 (4部制を4課6係制)
1975 (昭和50) 年	8月	日雇労働者福利厚生措置事業、財団で取扱開始
1976 (昭和51) 年	10月 1日	建設労働者の雇用の改善等に関する法律施行
1976 (昭和51) 年	11月 1日	事業所登録制度始める
1977 (昭和52) 年	11月28日	第1回就労正常化促進 実施
1978 (昭和53) 年	1月30日	「センターだより」創刊
1978 (昭和53) 年	6月12日	事務所内に玉出社会保険事務所窓口開設
1980 (昭和55) 年		「労働者便利帳」発行
1981 (昭和56) 年	3月 5日	「将棋愛好者の集い」開催
1981 (昭和56) 年	6月	窓口紹介、集中公開方式始める
1981 (昭和56) 年	9月 3日	第1回たそがれコンサート開催
1983 (昭和58) 年	5月18日	事務局組織改正 (4課8係制)
1991 (平成 3) 年	4月 1日	事務局組織改正 (3課6係2班制)
1992 (平成 4) 年	10月 1日	第23次釜ヶ崎暴動
1993 (平成 5) 年		技能講習 (ガス溶接、アーク溶接) 開始
1994 (平成 6) 年	11月	特別清掃事業実施 (大阪府、大阪市)
1995 (平成 7) 年		技能講習 (車両系 [整地並びに解体]) 開始
1997 (平成 9) 年	4月 1日	事務局組織改正 (3課6係2班制)
2000 (平成12) 年	4月 1日	あいりん地区日雇労働者厚生事業開始
2000 (平成12) 年	4月13日	事務局組織改正 (3課6係3班制)
2001 (平成13) 年	4月 1日	事務局組織改正 (3課6係2班制)
2001 (平成13) 年	7月 1日	厚生労働省から日雇労働者技能講習事業を受託
2001 (平成13) 年	11月 1日	寄附行為一部 (4条) 改正 (大阪府からあいりん労働福祉センターの施設管理等の事業受託)
		事務局組織改正 (3課1室6係4班制)
2008 (平成20) 年	3月	技能講習室を開設
2008 (平成20) 年	4月 1日	事務局組織改正 (3課1室6係3班制)
2008 (平成20) 年	6月13日	第24次釜ヶ崎暴動

守 ろ う 人 権

明 る い 社 会

経 験 豊 か な 労 働 力

高 齢 労 働 者 の 雇 用 は セ ン タ ー へ

財 団 法 人 西 成 労 働 福 祉 セ ン タ ー

〒 557-0004 大 阪 市 西 成 区 萩 之 茶 屋 一 丁 目 3 番 4 4 号

求 人 : 06-6632-3200 高 齢 者 班 : 06-6633-7998

技 能 講 習 : 06-6641-0325 (技) FAX : 06-6641-0320

労 働 福 祉 : 06-6641-0296 相 談 労 災 : 06-6634-6535

総 務 : 06-6641-0131 F A X : 06-6641-0297

管 理 室 : 06-6632-1552

URL <http://www.osaka-nrfc.or.jp/>